

## 第二次宇部市自殺対策計画（素案）に対する意見募集の結果

### 1 概要

- (1) 募集期間 令和5年12月22日（金）～令和6年1月22日（月）
- (2) 意見提出者数 2名
- (3) 意見件数 4件
- (4) 対応の区分別意見件数
  - ア 意見を計画案に反映したもの 0件
  - イ 意見の趣旨が計画案に既に反映されているもの 0件
  - ウ 今後の参考にするもの 2件
  - エ その他 2件

### 2 意見及び市の考え方と対応

NO	箇所	意見	市の考え方	対応
1	P40	数値目標であげられている「生活相談サポートセンターうべ相談者のうち就労等につながった割合」の「等」にはどのようなものが含まれているのでしょうか。	「生活相談サポートセンターうべ相談者のうち就労等につながった割合」には、一般就労のほか、福祉的就労いわゆる就労系の障害福祉サービスの利用も含まれています。	エ
2	P40	「生活相談サポートセンターうべ相談者のうち就労等につながった割合」の目標値を50%としている根拠について、教えてください（過去の実績からみた増加率でしょうか。）	「生活相談サポートセンターうべ相談者のうち就労等につながった割合」の目標値は、令和2年度から令和4年度までの実績の平均値（45.1%）から約5%の増加を目指し設定したものです。	エ

3	-	<p>学校教育の立場から、休み時間、始業の前、放課後は、先生が自ら目を光らせておくことが重要ではないか。私も中学1年時、休み時間に、同級生よりいじめられた経験があるので。</p>	<p>本計画においては、基本施策の一つとして、こどもの生きる力の育成を目指しています。各学校でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、こどもたち自らがいじめについて考える機会を持ち、一人ひとりを大切に思いやる気持ちを育む教育を推進していきます。</p> <p>学校においては、管理職のリーダーシップの下、生徒指導主任などを中心に担任等と連携しながら協働的な相談・指導体制の構築に努めており、児童生徒及び保護者を対象としたアンケートやスクールカウンセラー等による教育相談を実施するとともに、管理職による授業中の見回りや、休み時間に複数の教職員が見守りを行うなどして、いじめの早期発見に向けて組織的な取組を進めています。</p> <p>また、学校や地域を対象にゲートキーパー講座を開催し、悩んでいるこどもに気づき、適切な対応をとることができる人材を養成します。</p>	ウ
4	-	<p>家庭においては、父親がこどもに関心を持つことではないか。</p>	<p>こどもの自殺対策は、家庭をはじめ、学校や地域、こどもを取り巻く社会全体で取り組む必要があります。その際、家庭においては、父親の子育て参加を促進することが大切であることから、関係課、関係機関と連携し、家庭における父親の役割や家庭のあり方等を考えるきっかけづくりに取り組んでいきます。</p>	ウ